

低コスト間伐材生産のための高性能林業機械等の導入

1. 林業事業体等名 株式会社いしい^{りんぎょう}林業（静岡県賀茂郡南伊豆町）

2. 林業事業体の概要

- ①年間素材生産量 2,400m³（うち間伐の占める割合 100%）
- ②生産する主な樹種 スギ、ヒノキ
- ③素材生産に関わる作業員数 6名（1セット3名×2セット）

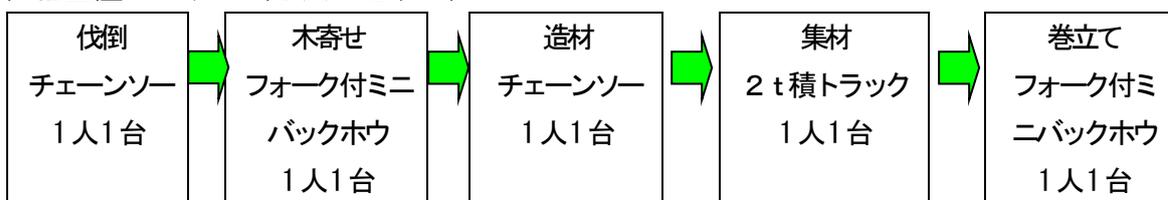
3. 取組の特長

- ・ 森林施業プランナーを中心とした小規模森林所有者への働き掛けによる施業団地化
- ・ 様々な作業条件の現場に対応できるよう、必要最小限の人員及び高性能林業機械による生産システムを採用
- ・ 原木選別評価士により山土場で選別を行い、各需要先へ直送
- ・ 併せて伊豆地域からの原木海上輸送を試験的に行い、大量輸送による流通コスト縮減に取り組む。

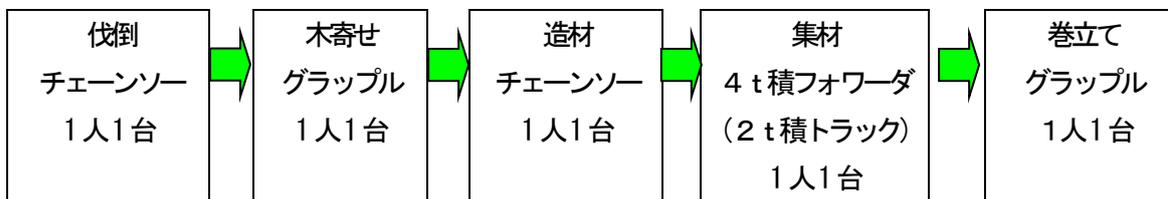
4. 具体的な内容

- ① 施業方法：車両系定性間伐
- ② 使用機械：グラップル（ベースマシン8tクラス）1台、フォワーダ1台（4t積）
- ③ 生産システム

1) 旧生産システム（3人/セット）



2) 現行生産システム（3人/セット）



※伐倒から造材作業までを先行し、同人が集材以降の工程を行う。

④ 森林作業道の作設方法

- ・ 低コストかつ丈夫な構造とし、100~200m/haの路網密度を確保。
- ・ 作業道の配置は、トラック集材の可能性も考慮しながら選定。

⑤ 労働生産性及び素材生産コスト：

利用間伐	旧生産システム		新生産システム	
	労働生産性 (m ³ /人・日)	素材生産コスト (円/m ³)	労働生産性 (m ³ /人・日)	素材生産コスト (円/m ³)
	2.0	14,000	3.3	9,500

・新生産システムの導入により、労働生産性を約50%向上させたことで、素材生産コストが約3割削減され、事業体の経営改善や森林所有者への利益還元に繋がった。

5. 今後の取組等

- ・現在はレンタルにより導入しているフォワーダについて、購入を予定
- ・間伐木の搬出割合をさらに高め、A～C、D材までの資源活用により、生産量を増大
- ・1作業現場当たりの生産量を高めるため、利用間伐に加えて皆伐・再造林一貫施業にも取り組む（平成27年度に試験施工1箇所）
- ・地域の森林組合・林業事業者との連携により、森林経営や施業の共同化を進め、地域と調和した経営発展を目指す。



【グラップルによる木寄せ・造材】



【フォワーダによる集材・荷下ろし】

【問い合わせ先】

所属：静岡県賀茂農林事務所森林整備課

役職・氏名：主査 伊澤聡

連絡先：0558-24-2082